

将来計画委員会議事録

日時 : 2018年3月5日(月) 15:00~17:00

場所 : 東京 八重洲倶楽部 第5会議室

出席者 : 手嶋 崇雄(田辺三菱製薬), 佐藤 隆章(慶応大学), 道田 誠, 蓮 芳文(第一三共),
村瀬 徳晃(大正製薬), 吉澤 一洋(エーザイ), 間瀬 暢之(静岡大学), 原 敦治
(和光純薬), 大原 孝文(塩野義製薬), 岡戸 康太郎(味の素), 山下 真之
(スペラファーマ), 林 泰正(アステラス製薬, 記)

欠席者 : イリエシュ ラウレアン(東京大学)

オブザーバー: 佐治木 弘尚(会長, 岐阜薬大), 田中 規生(副会長, 日産化学)
(順不同, 敬称略)

【議題】

1. 委員交代
2. 前回議事確認
3. 第12回プロセス化学ラウンジ報告(大原 委員)
4. 第13回プロセス化学ラウンジに向けて(山下 委員)
5. ウィンターシンポジウムの有効活用 新企画について
6. プロセス化学関連の技術資料や技術レビューの発信について
7. その他

【内容】

1. 委員交代

退任: 道田 誠(第一三共)

新任: 蓮 芳文(第一三共)

2. 前回議事確認

2017年8月2日に開催した前回委員会の議事について確認した。

3. 第12回プロセス化学ラウンジ報告(大原 委員)

- 2017年12月1日(金)-2日(土)に和光純薬湯河原研修所にて開催。時間は昨年同様、金曜10時開始、土曜日朝食後解散。合計42名(講師5名, 参加者34名, 世話人3名)。
- 当初の申し込み締め切り時点では参加者が少なかつたため、1週間延長して参加者を募集した。
- 講演は企業3題, 大学2題の計5題。昨年第11回から開始した参加者より事前に興味のあるトピックスについてアンケートを実施し、6つのトピックスを選定して全員参加で情報交換のできるイベントを継続して実施した。6つのトピックスについては事前に承諾いただいた参加者よりショートプレゼンをいただいた。その後、夕食時に6つのトピックスごとにグループ分けを行い、情報交換を実施した。
- プロセス化学ラウンジ後に参加者にアンケートを実施(結果は別紙参照)。
- 夕食時の情報交換については議論を活発化させるにはファシリテートが難しかった。部屋割りをトピックスごとに分けて夕食前にグループで議論するなどの工夫が必要。
- アンケート結果より、開催プランは過半数の方が今回のプランを希望されていたため、次回も同

様のプランで実施する。

- 幹事部屋の部屋割りは配慮が必要(事前アンケート等を検討)。
4. 第13回プロセス化学ラウンジに向けて(山下 委員)
 - 企業, 大学行事を考慮すると時期は11月下旬~12月上旬が好ましい。主要な他学会開催予定を考慮し, 第13回は2018年11月30日(金)—12月1日(土)に決定。場所は和光純薬工業様の湯河原研修所を使用させていただく。
 - 講演は企業3-4題, 大学2題+イベント企画を盛り込む。全員で自己紹介をすることも検討する。
 - 第12回でのアンケート結果を踏まえつつ, 素案を作成し提案する。
 5. ウィンターシンポジウムの有効活用 新企画について
 - ウィンターシンポジウムは午後半日(招待講演, JSPC 優秀賞講演)で実施しているが, 午前を活用した新企画について議論した。
 - 事前に一部委員で4つのアイデアを出し(別紙), そのうち, 大学-企業, 企業-企業間のコラボレーション, パートナリングを推進するような企画を詰めていく。
 - ウィンターシンポジウム世話人と実現可否について協議していく。
 6. プロセス化学関連の技術資料や技術レビューの発信について
 - プロセス化学会ホームページにコラムを掲載する方向で継続検討。
 7. その他(連絡事項, アイデア)
 - 1) (連絡事項)6月8日に東海地区フォーラムを開催(名工大)。今年は6月6-7日に開催される有機合成シンポジウム(名古屋)と連続させ, 双方に参加しやすいように利便性向上と有機合成化学・プロセス化学の人材増強と啓蒙を図る目的で両学協会のコラボ企画となる。東海地区フォーラム前に出前講義を企画。
 - 2) 化学系学生を対象とした企業によるプロセス化学啓蒙活動をサマーシンポジウムで開催してはどうか?
 - 3) 若手, 中堅プロセスケミストの講演&談話会を企画してはどうか?

【次回委員会予定】

- 2018年7月25日(東京:タワーホール船堀)。サマーシンポジウムの前日に開催します。

以上